

じゅうぶんには握して指導に当たること  
が望ましい。また効果的な指導法につ  
いてもくふうが必要である。

## 五、日本の伝統音楽の指導につ て

この音楽の指導では、まず音楽の特色  
と美しさを生徒に味わわせるとともに、  
どのような歴史の流れの中で伝承され  
発展してきたかを、地域の特質とともに  
認識させることである。またその展開に  
は、すぐれた郷土の伝統音楽を積極的に  
活用することが望まれる。

## 六、指導計画の改善と指導内容 の充実

- (一) 指導内容の理解（吟味）を深めて  
目標の達成に努める。
- (二) 各領域が適切に組みこまれた指導  
計画であり、指導内容と学習活動が  
一致するよう配慮する。
- (三) 生徒の実態及び学習環境、地域社会  
の状況を握して、それらの実情にあ  
った指導計画と指導法を確立する。
- (四) 音楽の指導には視聴覚教材の活用  
が、ますます重要になってきている。  
例えば現代音楽の指導にはスコア、  
奏法はスライド等によって理解が深  
まる。また日本の伝統音楽の指導に  
は、VTRによってこの音楽のもつ繊  
細な表現、技法まで感得することが  
できる。



### 小学校

新学習指導要領・図画工作が、創造  
的な表現製作の喜びをいっそう深く味  
わわせることに重点を置くとともに、  
指導の効果を高めるため、領域を整理  
統合し、内容の精選を図るなどの基本  
方針を受けて改訂が行われた。なお、  
今年度は移行措置第一年度に当たるの  
で、その趣旨に従い、適切な指導計画  
と指導法の改善が望まれる。

各学校では、新学習指導要領の内容  
をじゅうぶん研究するとともに、表現製  
作の喜びを味わわせるために適切な題材  
を設定し、表現製作の過程を重視した  
授業の展開が必要とされている。このよ  
うな当面する課題に積極的に取り組み、  
次の事項に留意して充実した造形活動  
が展開できるよう、努力する必要がある。

### 一、適切な造形活動ができるよ う学習内容を構成し、指導計 画の改善に努める。

- (一) 新学習指導要領の移行期間中にあるので、特例により各学年の指導に  
ついては、全部又は一部について新  
学習指導要領によることができるこ  
とになっており、学校や児童の実態  
をふまえながら、指導計画の改善に  
努めるようにする。
- (二) 低学年では、総合的な造形活動が  
行われるような題材を設定し、表現  
製作の喜びをじゅうぶん味わえるよ  
うにする。
- (三) 各題材の指導内容の関連を明確に  
し、内容の精選を図るとともに重点  
的な指導ができるようにする。
- (四) 材料・用具及び技法については、手  
を使う経験を重視し、基本的なものを  
明確にしながら、系統的、発展的な取  
り扱いができるようくふうする。
- (五) 鑑賞の学習は、表現活動に付随し  
て取り扱い、表現の幅を広げたり、  
表現意欲を高めたりするようにくふ  
うする。

### 二、表現製作の喜びをいっそう 深く味わわせる授業の展開に 努める。

- (一) 子供らしい豊かな表現をさせるた  
めに、特に発想の段階の指導を重視  
し、鑑賞資料や教育機器等を効果的  
に活用する。
- (二) 表現の過程において、構想や技術  
等のつまずきをは握し、児童一人一  
人に即して適切な指導助言ができる  
よう、造形表現の特質や技術指導の  
あり方について研究を深める。
- (三) 児童の造形的な見方、考え方、表  
し方をたいせつにし、教師の主観を  
押しついたり、作品効果のみを追っ  
た指導にならないようにし、常に教  
科のねらいに即して指導を進める。
- (四) 彫塑、工作等の内容が高度になら  
ないようにし、児童に無理なく、楽  
しく表現製作ができるようにする。
- (五) 適宜共同製作を取り扱い、協力し  
ながら大作をまとめる喜びを味わわ  
せるようにする。
- (六) 評価に当たっては、児童一人一人に  
対する理解を深めるとともに、作品の  
評価のみに偏ることなく、学習の過程  
における評価を適切に行い、指導計画  
や指導法の改善に役立てるようにする。

### 三、施設・設備を計画的に充実 し、表現や鑑賞の活動に活用 する。

- (一) 各題材の指導が、いっそう効果的  
に進められるよう、施設・設備を計  
画的に充実する。また、現有の施設・  
設備についても常に活用できるように  
整備に努める。
- (二) 各学年の鑑賞の指導に関連して校  
内の適切な場所に作品を展示し、学  
校生活全般を通じて、随時鑑賞でき  
るようなくふうをする。
- (三) 教材・教具の整備・保管、活用に